

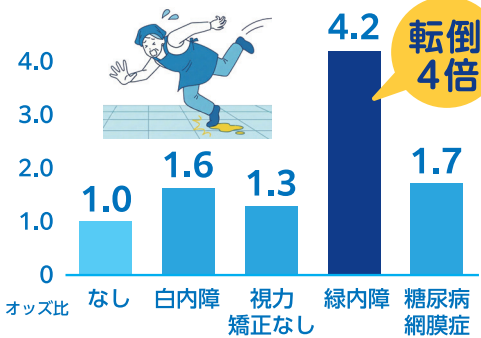
“見えている今”を守ることは “会社の未来”を守ること



企業健診に 眼底検査という選択を!

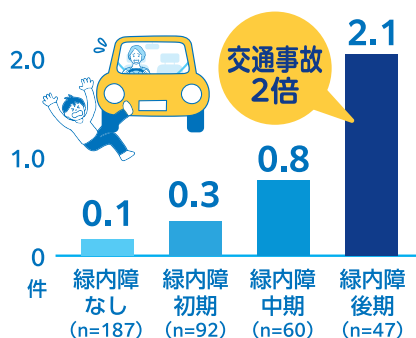
目の病気を放置した職場で懸念される労災などの例

転倒と視覚障害の関連性



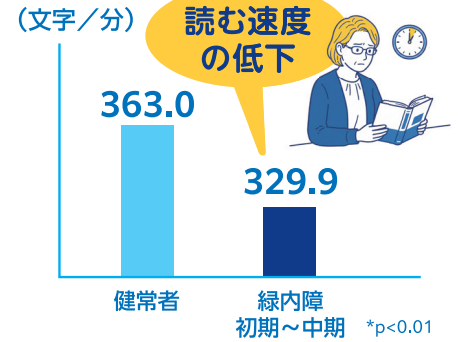
Lamoureux EL, et al. Invest Ophthalmol Vis Sci. 2008

10,000km運転当たりの交通事故件数



Ono T, et al. J Ophthalmol. 2015

最大読書速度 (文字/分)



Ishii M, et al. Jpn Ophthalmol. 2013

目の病気の早期発見・早期治療は、
従業員一人ひとりの生産性向上、労災リスクの軽減につながります

従業員の目も、会社の未来も守る具体策

- 健康診断に「眼底検査」をプラス

年1回の眼底検査を加え、健診後の事後指導まで確実にいきましょう。



- 見落としを防ぐ環境づくりを

職場の4S(整理、整頓、清潔、清掃)や作業場所の照度を見直して、目の状態にかかわらず、安全に快適に働ける環境を。

- 「アイフレイル」チェックの活用

加齢による目の機能低下のサインを従業員が自ら気づくツールがあります。



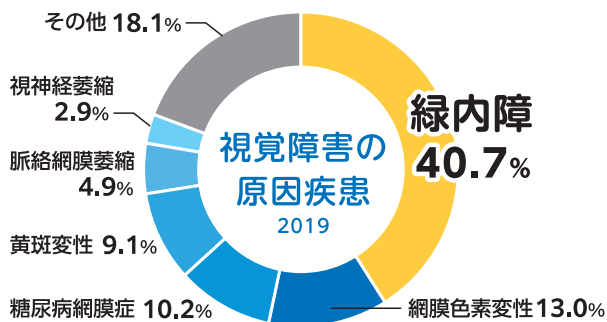
はたらく人の目を守る眼科検診ハンドブック



「見えにくくなる」原因の8割が眼底の病気です

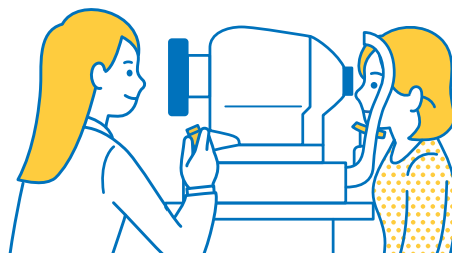
視力検査だけでは発見できません

年1回の健康診断に眼底検査を



Matoba R, et al. Jpn J Ophthalmol. 2023

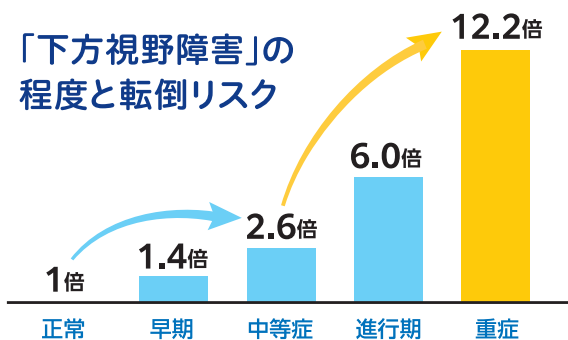
機能回復できない病気も多く、早期発見が大切です。



眼底とは目の奥の部分で、さまざまな病気を発見できる場所です。眼底検査では1枚の写真で、網膜・血管・視神経の状態がすべてわかります。検査後も速やかに業務復帰できます。

見落としを防ぎ、安全で快適に働ける環境づくりを

「下方視野障害」の程度と転倒リスク



Alex A Black, et al. Optometry and vision science 2011
Jones PR, et al. Ophthalmic Epidemiology. 2019 から作成

足元の危険に気づきにくくなるのが、転倒の一因です。

段差や水たまり、障害物を見落とさないように、職場を見直していきましょう。



転倒の危険性も

アイフレイル(加齢による目の機能低下)の自己チェックも有効です

2つ以上該当したら眼科医への相談をお勧めしています。目の病気のサインを見逃さないでください。

<p>1</p> <p>目が疲れやすくなった</p>	<p>2</p> <p>夕方になると見えにくくなるが増えた</p>	<p>3</p> <p>新聞や本を長時間見るのが少なくなった</p>	<p>4</p> <p>食事の時にテーブルを汚すことがたまにある</p>	<p>5</p> <p>眼鏡をかけてもよく見えないと感じることが多くなった</p>
<p>6</p> <p>まぶしく感じやすくなった</p>	<p>7</p> <p>はっきり見えない時にまばたきをすることが増えた</p>	<p>8</p> <p>まっすぐの線が波打って見えることがある</p>	<p>9</p> <p>段差や階段で危ないと感じたことがある</p>	<p>10</p> <p>信号や道路標識を見落としそうになったことがある</p>

